

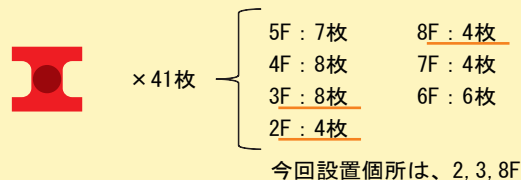
## レンズダンパー®案件紹介（東京プラザビル耐震改修工事）

東京都のオフィスビルの耐震改修工事にレンズダンパーが採用されました。  
ポイントは、間柱設置で開口を遮らない取付けです。

所在地	東京都渋谷区
工期	2015年11月～2015年12月
構造・階数	SRC、RC、S造・地上8階、地下1階、塔屋1階
延べ面積	919.66㎡
建物用途	事務所
発注者	株式会社東京プラザビル
設計	株式会社宇田川建築設計事務所
施工	株式会社丸高工業

### レンズダンパータイプと設置数

レンズダンパー枚数：41枚  
(間柱タイプ)



本建物は新宿駅南口徒歩圏内の甲州街道沿いに位置します。高層ビルの密集したこのようなビルはレッカー等が設置できないため搬入等を考慮すると、コンパクトなダンパーが要求されます。

また本建物では、窓開口枠が外壁と一体で形成されたPCa版であり一般的な補強ができないため間柱を新設してレンズダンパーを設置しています。

今回の補強は、耐震性能が十分に確保できることを確認の上、設置可能なフロアにレンズダンパーを取付けました。今後は設置していないフロアにも取付けることによって、本建物の耐震改修工事が完了します。裏面に施工状況を掲載しています。



北側外観（甲州街道より）



レンズダンパー（正面）



施工前



施工後

## 施工状況

間柱建て込みからレンズダンパー仮止めまでの工程を写真でご紹介します。



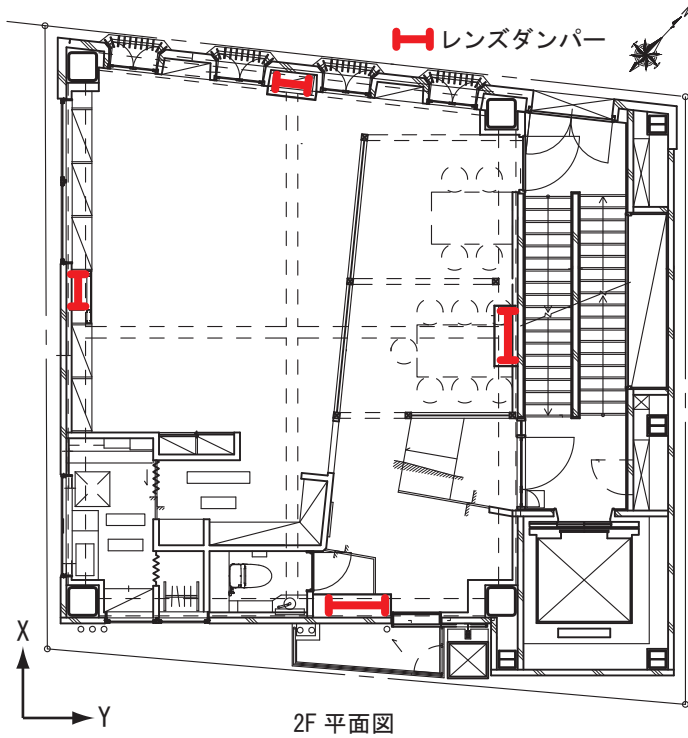
下側間柱建て込み状況



上側間柱建て込み状況



レンズダンパー仮ボルト入れ状況

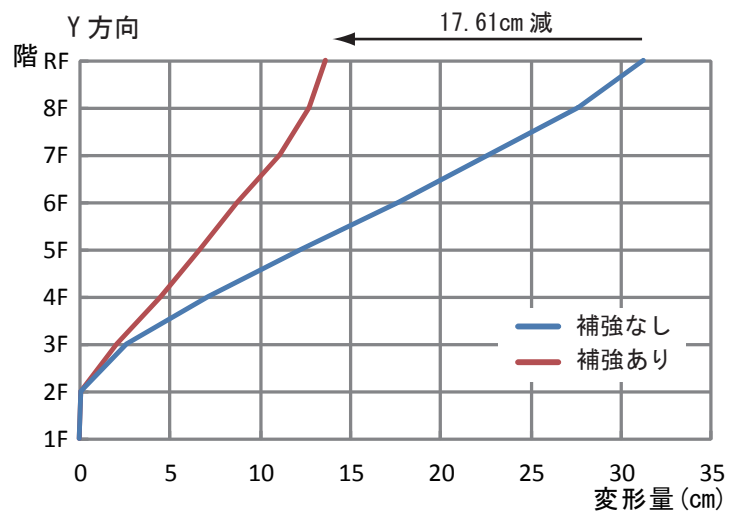
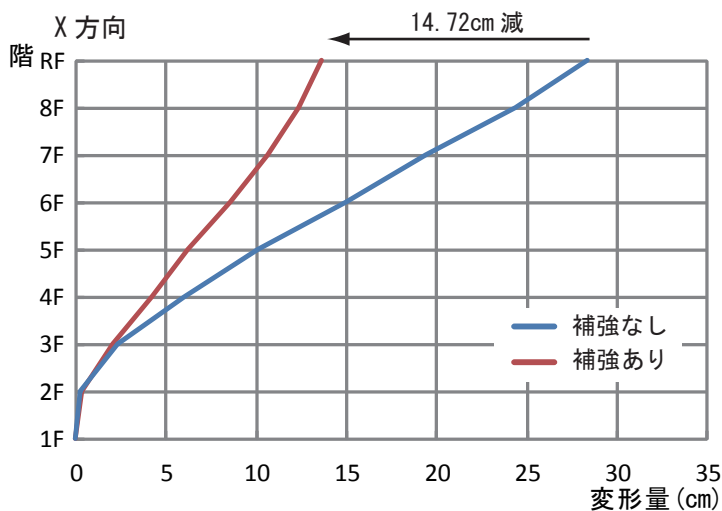


### オーナー様のコメント

- ・内装の一部解体と改修工事および現状復帰を含めて2ヶ月と工期が短くスケルトンフロアは工期が15日間だった。
- ・貸室面積の減少が少なくて済んだ。  
(各フロア約1㎡程度減少)
- ・空室フロアのみでの施工が可能だったこと。今後はテナント退出の際に施工予定としている。
- ・室内のデザインやイメージ、機能等があまり損なわれなかった。
- ・鉄骨ブレースによる補強では室内の面積がだいぶ減り、道路面ウィンドウも一部塞がれてしまうが、その心配がなかった。
- ・耐震（制震）性能について効果を期待している。

最上部揺れ幅 (cm)

	補強あり	補強なし
X方向	約13.60	約28.32
Y方向	約13.56	約31.17



最大応答相対変位 (全フロア補強後)